

ここが Point!

コーパス doing / to do を補語にとる名詞



1) 補語に to do が使われることの多い名詞

aim (目的) decision (決定) dream (夢) goal (目標)
 hope (願い) plan (計画) purpose (目的) wish (願い)

原理 「目的」「計画」「希望」など「これからすること、これからしたいこと」といった〈未来志向〉の意味を持つものが多い。

2) 補語に doing が使われることの多い名詞

one's favorite [main] activity (お気に入りの [主な] 活動)
 one's (main) business ((主な) 仕事)
 the bad [worst, annoying, only] habit (悪い [最悪の, いやな, 唯一の] 痴)
one's hobby (趣味) one's (main) interest ((主な) 興味)
one's (first) job ((最初の) 仕事)

※ one's (favorite [main, chief]) occupation ((お気に入りの [主な] 気晴らし)
 (「職業」の意にもなる)

one's (favorite) pastime ((お気に入りの) 気晴らし)
 one's main [the most difficult, the hardest] task (主な [最も難しい] 任務)
 「これまでできていること、習慣的に行うこと」を表す名詞が多い。



3 目的語として

5 I enjoyed **watching** the rugby game on TV last night.

私は昨夜ラグビーの試合をテレビで見て楽しみました。

259

6 They enjoyed **skiing** at Karuizawa. 彼らは軽井沢でスキーを楽しんだ。

260

1. 5では **doing** が他動詞の目的語として働いている。

2. 動名詞 **watching** は、目的語として the rugby game を、副詞（句）として on TV を伴っている。

注意しよう！ 〈SVOC〉 の目的語として使う **doing** と **to do**

○ I found speaking in English very enjoyable.

○ I found **it** very enjoyable speaking in English.

✗ I found to speak in English very enjoyable.

○ I found **it** very enjoyable to speak in English.

英語で話すことはとても楽しいと私は思った。

4 前置詞の目的語として

7 When you speak a foreign language, don't be afraid *of making* mistakes. 外国語を話す時は、ミスすることを恐れてはいけない。

261

8 My brother is good *at cooking*. 私の兄は料理が得意だ。

262

動名詞は名詞として働くので、前置詞の目的語になれる。

【!】 名詞的用法の不定詞は他動詞の目的語にはなるが、前置詞の目的語にはなれない。

○ We are all fond *of eating* out. 私たちはみな、外食をするのが大好きです。

✗ We are all fond of to eat out.